



■ 剣山(三嶺～剣山縦走)

- 日 程：9月18日(金)～20日(日)
- 参加者：L 佐々木 SL 砂川(延) 大谷 尾越 河合 中嶋 三木(勉) 和田

◆◆三嶺小屋をめざして

中嶋

- 行動記録：18日(金)

山電高砂駅6:15発-JR宝殿駅北6:30発-名頃駐車場(11:20着・昼食)
12:00発-林道終点(12:50着)～登山口13:00発～タケモミの丘(14:00着)
14:05発～三嶺ヒュッテ小屋(15:20着)

期間中の天気予報は晴れマークが続いていた。シルバーウィークの前日、8人が2台の乗用車に分乗して三嶺～次郎笈～剣山縦走山行に出発した。第二神明→淡路鳴門→徳島自動車道美馬ICまで高速道路を利用し、以後は狭くて蛇行した国道を走る。

私がサラリーマン時代の四国は良く出張していた地域であり、剣山は一度は登ってみたい山だったので、募集があった時すぐに申し込みをした。

名頃駐車場では、案山子達が迎えてくれる。此处で、各自夕食材料の分担分を受け取り、身支度して昼食を摂る。

静岡からの登山者や作業員に見送られて林道を歩き、林道終点の工事現場より山道に入る。木々の間の九十九折れの道をひたすら上り、更に登る。登る。15:10樹林帯を抜けると、一面熊笹が広がり視野が開ける。少し上に池が有り、近くに三嶺ヒュッテ小屋があった。中に入ると2階も有る板張りの小屋で新しい感じであった。地図に在った水場が見つからず、やむなく池の水を使用して食事等を済ませて、18:00には全員就寝した。

高御位山遊会の貸し切り状態であり、気兼ねなく広く使用できたのは有難かった。夜中に一度目が覚めたので戸外に出ると空には降るような満天の星々が輝いていた。

◆◆三嶺～高ノ瀬～次郎笈～剣山

和田

- 行動記録：19日(土)

三嶺ヒュッテ小屋6:10発～三嶺頂上(6:25着)6:30発～カヤハゲ(7:30着)7:35発
～白髪分岐点8:25～白髪避難小屋(8:35着)8:55発～オオヤマレンゲ群落地(10:35着)
10:45発～高ノ瀬(11:10着)11:20発～丸石の水場(11:45着)12:10発～
丸石避難小屋前(12:50着・昼食)13:15発～丸石14:00～次郎笈登山口14:50～
次郎笈頂上15:30～剣山頂上ヒュッテ(16:50着)



昨夜の三嶺ヒュッテは避難小屋である。内は板張りもまだ新しい感じがし、綺麗そのものである。優に30人位は寝られそうである。それが私達8人のみが泊まり客とは。

19日朝は4時起床。この辺りは笹の絨毯で、それが夜露でびしょびしょに濡れていて、20m離れたトイレに行くとズボンはずぶ濡れになっていた。シーキンと塩こ

んぶの混ぜご飯に味噌汁で朝食。小屋内でストレッチ後、スパッツに合羽のズボンを着用して6時頃ガスの中出発。三嶺に6時半到着。三角点があり、焼き板に三嶺1893mと書いた表示板がある。ガスが徐々に消えて青空が少しずつ広がってきている。ここでちょっと休憩。

私は今回はカメラ担当になっている。まずは集合写真1枚。先ほどシャッターを押してくれた若者は先に出発し、もう影も形も見えない。私達も尾根沿いに後を追う。笹の中に木や岩もまばらに有り、私向きの景観である。ガスも時折かかってきて、幻想的な中を歩いて行く。

リーダーは速くもなく遅くもなく一定の速度で、淡々と歩いて行く。三嶺からおおよそ2時間経ったとき小屋が見えてきた。白髪避難小屋である。他に誰もいない。ここでコーヒータイムとなった。風もなく日差しも出てきてなんともくつろいだ気分心地よい。それから2時間ばかり歩いたら、笹っぱらの向こうに少しかすんで峰が二つ見えてきた。砂川さんから次郎笈と剣山だと説明があった。しばらくするとオオヤマレンゲ群落の説明板があり、高ノ瀬1740.8mの表示板がでてきた。地図でみると今日の行程の半分弱である。またしばらく行くと小屋が出て来た。丸石避難小屋である。戸が開いており、誰かが休んでいた。

ここら辺りになって私は少ししんどさを感じだした。目の前の次郎笈と剣山、きつそう。

次郎笈を登りだすと私は遅れだした。途中でリーダーの後ろの位置に替えてもらった。が、どんどんきつくなり、停まり出した。後はもう朦朧である。途中で他のメンバーは先に行ってもらい、私は砂川さんに付いてもらい、牛歩で遅れて歩いた。剣山頂上ヒュッテに何とか着いたが、次郎笈から後の道中は殆ど覚えていない。剣山頂上ヒュッテで休んだらいくら回復してきた。体力不足を実感したものである。

◆◆剣山ヒュッテから癒しの温泉郷へ

三木

行動記録：20日(日)

剣山頂上ヒュッテ 7:15 発～一ノ森ヒュッテ (8:00 着) 8:30 発～剣山頂上ヒュッテ (9:10 着) 9:15 発～刀掛の松 9:35～リフト西島駅 9:45～見ノ越 (10:35 着)

剣山山行、最終日早朝5時起床、6時10分快晴、東方の空の雲海、滝雲、ご来光を拝む。

最高の眺めに思わずカメラを持ち出し激写する。朝食を摂り一ノ森ヒュッテをめざし出発。

ヒュッテの主人の話、いただいたコーヒーは最高の味。景色を楽しみながら下山、見ノ越に到着する。

帰路、祖谷のかずら橋を観光、癒しの温泉郷でゆったり疲れを取る。この山行はメンバー、天候に恵まれ最高でした。



■藤無山(宍粟50山)

- 日 程：9月23日(水・祝)
- 参加者：La 和田 SLa 瀧原 赤木 中村 橋本(健) 開 山下(雅)
Lb 澤田(律) SLb 苦瓜 坂田(俊) 嶋澤 島谷 橋本(万) 増田
- 行動記録：大屋スキー場(9:15着)9:40発～982mピーク(10:50着)11:00発～1076mピーク(11:20着)～藤無山山頂(11:40着)12:25発～1076mピーク(12:40着)～982mピーク(13:00着)13:05発～大屋スキー場(13:55着)

◆◆秋のさわやか登山・藤無山

坂田

今日は、朝から好天に恵まれ絶好の登山日和であった。

参加者は14人(男性7人、女性7人)。自家用車(4台)でそれぞれの場所から出発し、途中道の駅『播磨いちのみや』で、合流することになっている。

私は、山電高砂駅前(6時40分)赤木さんの車に乗った。さらにJR宝殿駅前(2名乗車)計4名で、姫路バイパスを經由して国道29号を北上した。田園地帯の満開の彼岸花を見ながら、車中では山行の話や世間話をしつつ8時に『道の駅』に到着した。早く着いたので、前方にある伊和神社に参拝して帰って来たらパーティー全員が揃っていた。少々の休憩後、藤無山の登山口のある若杉高原(大屋スキー場)へと向かった。

9時15分に目的地へ到着。全員揃ってストレッチをし、2班に別れていよいよ藤無山へと出発した。

広い林道を登って行くと、リフトに乗っている若い人達が見られ、「芝ソリ」や「ウォータージャンプ」を楽しんでいた。また、ススキの穂が風に揺れ秋の訪れを感じながら歩いていくと、藤無山の登山口に着いた。スギの木やヒノキの植林の中の急な登りを息を弾ませながら登り、アップダウンを繰り返して尾根を歩いていると、下から吹き上げてくる冷たい風が体を心地よくしてくれ元気が出た。

途中で休憩をしたり記念写真を撮ったりした。ずっと尾根を歩き急な登りを登って、目的地藤無山(1、139m)の山頂へ11時30分に到着した。



山頂は意外と広く、木立の間から見える広い眺望を眺めながら昼食を摂った。

藤無山の名前は、播磨国風土記に大国主命と天の日槍が但馬の領有を争って石を投げ合ったとき、石を結ぶ藤蔓を探したが見つからなかったところから、この名がついたそうである。

12時30分まで昼休憩して、帰りは登って来た道と同じルートで下山

でしたので滑らない様にと気を付けるだけで楽であった。

全員無事下山後、若杉高原温泉で疲れた体を癒やして現地解散(15時10分頃)となった。リーダーさん、運転手さんを始め皆さんと一日を過ごさせていただき有難う御座いました。



■お月見ビバーク(高御位山)

- 日程：9月26日(土)～27日(日)
- 参加者：L 佐々木 SL 三木(悦) 上田 澤田(律) 塩津 中村 開 舛賀 三木(勉) 村上
- 行動記録：
 - 26日：鹿島神社大鳥居 16：20～桶居山分岐 17：20～ビバーク地点 17：25
 - 27日：6時起床・ビバーク地点 7：00～馬の背～大鳥居前 8：00

◆◆お月見ビバークに参加して

3・4日前から天気予報で雨マークが入っていたので、中止になるのかなと思っていました。

晴れ男晴れ女が多かったのかお天気になり、鹿島神社大鳥居に集合しました。

ストレッチの後、百間岩から登り始めました。桶居分岐から少し入った平らな所がビバーク場所で、ツェルトを張り、今夜寝る所を確保しました。ツェルトを張るのは初めてなのでSLの指導の元、四苦八苦して何とか張れました。外から見れば狭い気がしましたが、女性3人が入って横になれたのはビックリしました。お月見はおおいに盛り上がりました。

皆さん持参の月見だんごで薄茶を点てて頂いたのは格別でした。舛賀さんお手製のおつまみ



開

や、リーダーの奥さんお手製のあんころ餅やらも頂いてお腹一杯になり、本当のビバークはこんなのでは無いと皆で大笑いしました。その後、三木勉さんの伴奏で皆と楽しく合唱しました。合間に雲に見え隠れするお月様に感激し、楽しいビバークでした。

“来年も企画して頂くように”皆でリーダーにお願いしました。



■東山(宍粟50山)

- 日 程：9月27日(日)
- 参加者：La 垣内 SLa 苦瓜 乙坂 川上 土井 時井 舛賀 橋本(万)
Lb 尾内 SLb 中嶋 貝塚(陽) 金島 島谷 清水 土屋 峯山 山下(純)
Lc 藤本 SLc 貝塚(文) 平石 増田 森下 矢根 山本(正樹) 吉村
- 行動記録：フォレストステーション(9:20 着)9:35 発～尾根コース入口(10:05 着)～東山山頂(11:10 着)12:00 発～東山登山コース(12:45 着)12:55 発～フォレストステーション(13:20 着)14:25 発～白龍の滝(14:30 着)14:50 発

◆◆東山(宍粟50山)山行に参加して

森下

今日の山行は宍粟50山の東山(1016m)です。目的はハイキングとのこと、ヤッターと言う感じでみなと観光のバスに乗り込みました。総勢25名はフォレストステーションを目指し出発しました。

広場でストレッチを済ませ少し色づき始めた紅葉を見ながら30分程登ります。今まで行った山行では、最初の30分位が結構急な登りで覚悟がいたのですが、今日は勝手がちがいます。

ここから歩きやすい山道をゆっくり進みます。途中小さな花芽をつけた馬酔木の木が沢山あります、日がよく差し込んでいるので可愛い花を咲かせるのでしょうか。

東山尾根コースには杉や檜の手入れがよくされておりまして。苔の生えた湿地帯も少しありましたが全体として明るい山道です。尾根にはあちこちに山栗が落ちています。小さい栗ですが拾うのが好きな私は立ち止まり集めました。山の小動物のピンハネです。

山頂(1016m)の展望台からの眺めは360度の大大パノラマで四方に望める山々の名前が記してあります。霧もかからず良く見えました。友達と同じ名前の山の名を見つけました。1000m級の山です。なんだか嬉しくなっていました。記念写真を撮り昼食を食べた後、東山登山コースと書かれた樹林帯をゆっくり下山しました。メイプルプラザの敷地内に入ったところで山法師の木があり赤い実を食べました、結構甘かったです。



ストレッチのあと東山温泉に浸かり気分よく帰路につきました。途中すぐのところの白龍の滝(98m)に行きました。不動明王が祀られ、杉・檜・楓等の原生林に覆われた霊木の杉、不朽の杉等すごい霊域なんだという不思議な神聖な気持ちになりました。

豊かな気分で帰路につきました。楽しい山行を有難うございました。



■六甲山集中登山&頂上集会

- 実施 日：10月4日(日)
- 場 所：摩耶山 掬星台 13:00～14:00
- 参加 者：L澤田 SL 荘所 坂田(敬) 瀧原 田中(美) 田中(由) 苦瓜 本多 待場 三木(悦)
- 行動 記録：新神戸駅8:40 発～水池(9:12 着)～市ヶ原(9:30 着)9:40 発～学校林道との出会い(10:45 着)10:55 発～摩耶山掬星台(12:00 着)14:25 発～行者堂(15:20 着)～青谷バス停(16:05 着)

◆◆兵庫労山50周年記念行事 六甲山集中登山集会に参加して

澤田

兵庫労山50周年記念行事の一つとして六甲山集中登山集会に参加した。テーマの「兵庫の山からゴミを一掃する運動」も35年を超え、これからの50年を見据えた活動を展開しよう!だった。当日は46会から600名の参加者があり、盛大に開催された。高御位山遊会からも10名が出席した。

式典の中では主催者、喜多会長の挨拶に続き来賓紹介および挨拶があった。また、来賓挨拶の後、副会長、村上悦郎氏の基調講演があった。それらの中で、兵庫労山が取り組んできた活動は1978年10月22日「六甲山からゴミを一掃する運動」が始まり、以降35年が過ぎたというお話しであった。この間、役員の方はもちろん1人1人の会員がその意義を認識し行動した結果、2004年に環境大臣賞を受賞している。

また、六甲山系の水質調査を行い、見過ごせない汚染があり、神戸市と話し合い行政指導を実現させる。さらに、氷ノ山の自然を守る会を結成しスカイライン的な幹線林道計画の見直しをし、標高を下げて地元の生活に役立つ林道として開通した。その他、芦屋ロックガーデンの自然を守る運動、武庫川溪谷をダム建設から守る運動、労山の森づくりなど活動範囲は広い。

その他式典では、西宮明昭の柴田悦子さんによる詩の朗読、さくらんぼ合唱団による山の歌の合唱等も行われ和やかな雰囲気の中、式典は終了した。

高御位山遊会でも毎月第1日曜日の例会後にゴミを拾っているように、各会でもゴミ拾いを行うなど環境改善への労山の寄与は大きい。これらは労山以外の人たちもゴミを拾う、ゴミの減少等の効果からも環境保全への意識の向上に役立っているのではないだろうか。





■読図山行 大倉山

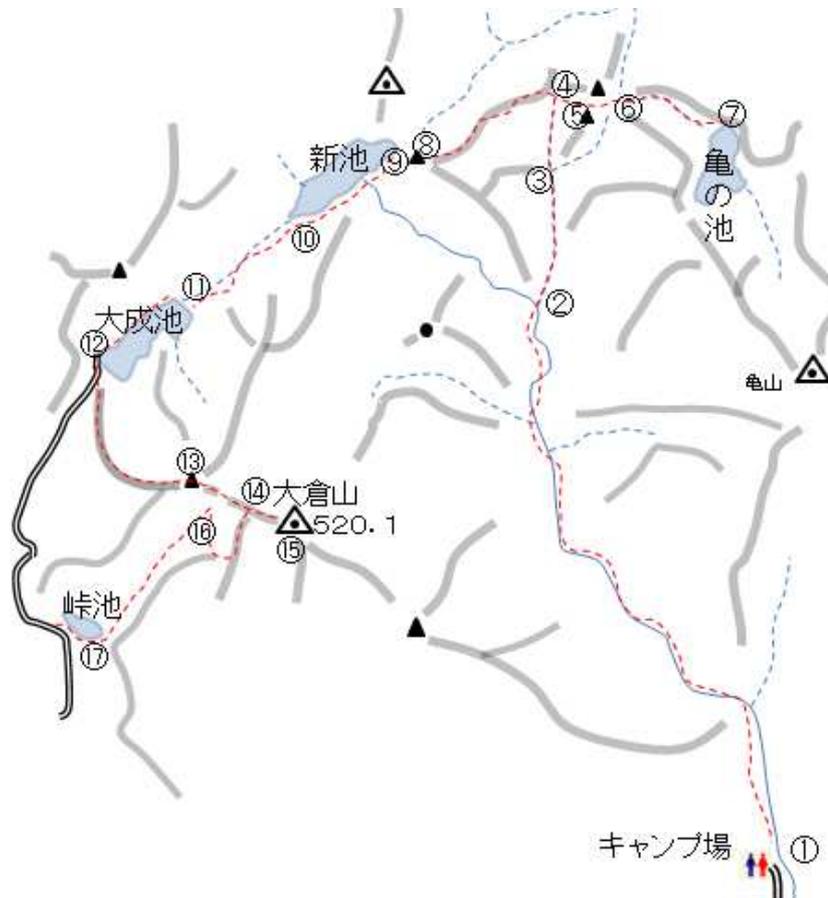
- 日 程：10月10日(土)
- 参加者：La 和田 嶋澤 平井(正) 谷口
SLb 澤田(律) 橋本(健) 橋本(万)
SLc 三木(悦) 大野 松本 山本(正樹)

A班行動記録

C班行動記録

B班行動記録

A班行動記録				C班行動記録				B班行動記録			
場所	着	発		場所	着	発		場所	着	発	
P 1	キャンプ場		9:40	P 1	キャンプ場		9:02	P 1 7	峠池		9:20
P 2		10:40	10:43	P 2		10:20	10:23	P 1 6		9:45	
P 3		11:00	11:03	P 3		10:40	10:45	P 1 5	大倉山頂上	10:05	10:10
P 4		11:08	11:10	P 4		10:50	10:52	P 1 4		10:15	
P 5		11:15	11:16	P 5		10:55	10:56	P 1 3	サウンドコープ	10:20	10:25
P 6		11:18	11:19	P 6		10:58	10:59	P 1 2		10:55	11:05
P 7	亀の池・昼食	11:30	12:00	P 7	亀の池	11:08	11:15	P 1 1	大成池	11:10	
P 8		12:18	12:19	P 8		11:43	11:45	P 1 0		11:20	
P 9	新池	12:25	12:28	P 9	新池・昼食	11:48	12:20	P 9	新池	11:25	
P 1 0		12:32		P 1 0		12:27	12:29	P 8		11:28	
P 1 1	大成池	12:47		P 1 1	大成池	12:45	12:46	P 7		11:45	
P 1 2	大成池・休憩	12:56	13:04	P 1 2		12:51	12:53	P 6		11:50	
P 1 3	展望所	13:26	13:29	P 1 3	展望所	13:12	13:17	P 5		11:55	
P 1 4		13:37	13:42	P 1 4		13:24	13:25	P 4	亀の池・昼食	12:05	12:30
P 1 5	大倉山頂上	13:47	13:48	P 1 5	大倉山頂上	13:30	13:33	P 3		12:50	
P 1 6		13:57	13:59	P 1 6		13:46	13:47	P 2		13:05	
P 1 7	峠池	14:16		P 1 7	峠池	14:00		P 1	キャンプ場	13:40	



◆◆たつの大倉山読図山行に参加して

大野

10月1日高砂保健センターにて、番号が1～17まで振ってある地形図でピーク、尾根筋、谷筋、池、高度に関する説明会が行われました。



当日の参加者は11名で、3班に分かれ各班にL、SL支援スタッフに1人付いてもらいました。教育キャンプ場からはC班、A班が間隔をおいて出発、B班は峠池から出発しました。

自分達C班はキャンプ場より、シルバーコンパスで方向確認をし、3人でポイントを確認し合い、左右の尾根筋、谷筋を確認しながら、地形図の番号に沿って行く。

9番の新池の堤で昼食を摂り休憩後、15番大倉山山頂経由17番峠池めざし14:00到着する。リーダーについて行くだけの登山ではなく、

自分で地形図を確認することの大切さを知り、地図読みは大変重要であることを認識させられました。リーダー、支援スタッフの皆様有難うございました。